(佐久地域)

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域の高校生とご当地グルメが連携「佐久高校生ラーメン甲子園」事業
事業主体	信州佐久安養寺ら一めん会
(連絡先)	佐久市猿久保 805-1
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,612,140円(うち支援金:1,278,000円)

事業内容

佐久地域各校の高校生と安養寺ら一めん会員がコラボレーションで開発した、地域食材を活用した創作ラーメンの競演販売を実施。

地域食材や食文化を知るなど、高校生にとって有意義な体験学習の場となった。

また、今年は佐久商工会議所や佐久市観光協会などの協力もあり、各長賞が設けられ、表彰も多彩になった。

第2回「佐久高校生ラーメン甲子園」概要 開催日/令和元年 10 月 5 日 (土)・6 日 (日) 午前9時から午後3時まで

場 所/佐久市中込 駒場公園 さく市会場 参加校/佐久地域の高校5校6チーム(38名)

- ・岩村田高校(6名)サポート店:とんちき麺
- ・小諸商業高校(6名)サポート店:かるねや
- ・佐久平総合技術高校浅間キャンパス(8名) サポート店:光志亭
- ・佐久平総合技術高校臼田キャンパス(6名) サポート店: 麺三
- ・野沢南高校(6名)サポート店:佐蔵
- ・佐久長聖高校(6名)サポート店:文蔵

販売ラーメン/

- ・岩村田高校(岩ちゃんラーメン)
- ・小諸商業高校(小商のコショウラーメン)
- ・佐久平総合技術高校浅間キャンパス (浅間ホワイトラーメン)
- ・佐久平総合技術高校臼田キャンパス (特製び一ふしちゅう麺)
- ・野沢南高校(鯉に恋する白湯ラーメン)
- ・佐久長聖高校(鶏ぷる塩豚骨ラーメン)

結 果

優勝/佐久長聖高校(8.79点) 準優勝/小諸商業高校(8.75点)3位/野沢南高校(8.58点)4位/佐久平総合技術浅間(8.56点)5位/岩村田高校(8.50)6位/佐久平総合技術臼田(7.53)



●会場の様子

事業効果

- ① 当日は、大勢の参加高校生の家族や友達、また、 学校の教職員、出身OB、OGが来場し、ラー メンを購入し投票するという効果があった。 (6校合計1,803杯販売 投票数1342 票 投票率 7 4 . 4 3 %)
- ② 佐久商工会議所、佐久市主催の「さく市」は、 2日間で来場者53,000人あり、ラーメン 甲子園各校ブースには、一日中長い行列が出来 ていた。
- ③未来の起業者、就業者が佐久の産業の一端を体験 して、将来の方向性を決める動機づけ機会となる。 (将来調理師や飲食業を志す参加者が居た)
- ④マスコミなどで参加高校が取り上げられ、学校の 活性化に繋がった。

10月4日 長野朝日放送 夕方のニュース

10月4日 長野放送 「みんなの信州」

10月4日 信濃毎日新聞 記事掲載

10月6日 SBCテレビ 夕方のニュース

10月7日 長野放送「みんなの信州」

10月10・11日 佐久ケーブルテレビ

他、多数報道

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加高校数を増やすようにしていきたい。それには、高 校生と二人三脚で地域食材を勉強し、ラーメン開発をサ ポートする店舗の存在が欠かせない。安養寺ら一めん会 員の増強努力も行うが、会員でなくても参加各校の地元 ラーメン店との関係を築き、協力してもらうことで解決 することもできる。

今後も佐久地域の高校生、中学生、小学生の地域学習や 体験学習のために協力していく。

【目標・ねらい】

- ①高校生に地域食材の知識を得て 欲しい
- ②大勢の人に高校生の作ったラー メンを食べて欲しい。
- ③この機会に高校生に就業観を身 につけて欲しい
- ④参加高校の活性化をもたらす

*自己評価「 ٦

【理由】

- ①イベント当日は、1800杯以 上の販売があり、多くの人に高校 生の努力する姿を実感してもら い、OB・OGからも沢山の声を 掛けてもらった。
- ②高校生が地域食材や食文化を学 ぶ機会となった。
- ③マスコミから多くの取材を受 け、参加高校に注目が集まった。
- ④将来の職業選択に役立った高校 生が居た。
- ⑤昨年より参加校が2校増え、更 に多くの高校生がイベントに関与 してくれた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある